

# 議事要旨

## 1、公園基本計画の方向性について

### (1)公園の特徴づけについて

- キトラ古墳周辺地区と既存の飛鳥公園各地区の役割分担、特色づくりをより鮮明にしていく必要があるのではないか。
- 飛鳥の歴史的風土を創造的に活用した内容をさらに深める必要があるのではないか。  
(道教や陰陽道等に影響を受けた日本文化のルーツを感じられるような特色付け、四神を四季に見立てた広場整備、キトラにちなんだ活動を展開する舞台としての広場整備等。)
- 村民が主体的に取り組む全村博物館構想を受け、地元の人の活動が見えるイベント誘致やそれらが可能な施設整備をさらに検討していく必要がある。
- 全村を歴史・飛鳥時代をテーマとした一種の「テーマパーク」として位置付けて考えてみてはどうか。

### (2)公園整備のテーマ設定について

- 「遊びながら楽しく学ぶ」、という設定をさらに深めることが重要である。
- 地域活性化のためには、今後滞在型・宿泊型の体験学習について検討を深めてはどうか。
- 飛鳥に住んでいる芸術家に指導を受ける滞在型体験学習も検討する必要があるのではないか。
- 飛鳥時代の人が見たであろう花、植物、食物などを、体験しながら当時を振り返ることができるテーマ設定をさらに深めて検討する必要があるのではないか。
- 文明の交流と融合という観点から、テーマ設定をさらに深めて検討してはどうか。○「風土を生かした食」や「時代の食」等の「食」のテーマの導入も検討する必要があるのではないか。

## 2、周辺地域との関係について

- 敷地の両端にキトラ古墳と檜隈寺跡という重要な文化財があることを勘案した公園整備が必要ではないか。
- 計画地南側は、壱阪山方面からのアクセスルートに当るので、景観上重視する必要があるのではないか。
- 高取町側への利用者の行動が拡大するような方策を考えていく必要があるのではないか。

## 3、公園内の動線・機能について

- サブエントランスは、壱阪山駅からのアクセス、キトラ古墳本体に近いことを考慮した整備内容に検討を深めていく必要がある。
- 古墳を見上げる谷の景観的配置が重要である。
- 公園区域内は将来の機器の開発等を視野に入れ、バリアフリーに関連する車の導入には柔軟に対応する必要がある。

○公園区域内の車両動線は、飛鳥地域全体の交通体系を含めて今後検討を深めていく必要がある。

#### 4、古墳本体の保存と公園整備

○キトラ古墳の外観は、本来の姿に戻すと非常に小規模である。

○古墳前面の谷部については、今後の調査では殯宮が発見される可能性がある。

○平成14年度に古墳の保存施設の整備内容が決定した段階で、公園全体の整備内容との整合性を取る必要がある。